

九州・アジア/中国ビジネス研究会

第66回研究会開催案内

(暑気払い・講演と懇親の夕べ)



日時：平成24年7月24日(火) 18:00~20:30

場所：電気ビル共創館3階 九州経済調査協会ビジネス・コミュニケーション・ライブラリー(略称：BIZCOLI)

住所：福岡市中央区渡辺通り2丁目1-82

TEL:092-721-4909 FAX 092-721-4908

【場所の案内】 西鉄電車：西鉄天神大牟田線「薬院駅」より徒歩5分、西鉄バス：「博多駅前A番」停留所より乗車→「渡辺通1丁目」停留所降車すぐ、「天神大丸前4C」停留所より乗車→「渡辺通1丁目」停留所降車すぐ、タクシー：JR博多駅より7分、福岡空港より25分、地下鉄：七隈線「渡辺通駅」降車(電気ビル本館B2Fへ直結)

講師：中村学園大学学長 甲斐 諭 氏

略歴：1973年九州大学大学院博士課程修了後、助手、助教授を経て1998年同大学教授に就任。2008年九州大学名誉教授、同年中村学園大学流通学部教授、兼流通科学研究所長に。2010年同大学大学院流通科学研究科長。2011年11月同大学および短期大学部の学長に就任して、現在に至る。同時に、農業、流通関係の豊富な研究実績と経験を生かして日本農業経済学会長、日本流通学会副会長、厚生労働省薬事・食品審議会臨時委員、内閣府食品安全委員会専門委員、文部科学省、農林水産省、九州農政局、福岡県、福岡市、農業団体など多くの外部団体・組織の委員を務め、全国レベルで大活躍。一方、中国を始めアジアの大学・研究機関との食品流通での交流を積極的に推進、学内でも「アジアビジネスコース」設立を提言し25年度より開設予定。

講演テーマ：変貌するアジアの食と流通

- 【概要】・世界の人口は増加するが、食料供給には限界があり、今後、世界の食料は高騰する可能性がある。
- ・世界の食料は異常気象、砂漠化、家畜伝染病などにより供給が不安定である。さらに食料の需要の価格弾性値が小さいので、わずかな供給変動で、価格が乱高下を繰り返し、それが途上国では経済的・政治的不安定要因となっている。
 - ・中国は経済発展に伴い、洋風化、肉食化が進行している。そのため、飼料としてのトウモロコシ、大豆、魚粕が不足し、輸入を拡大させている。それが世界の穀物市場のかく乱要因となり、他の国の食料輸入を困難にしている。
 - ・韓国は韓米FTA・韓欧EPAなどの対策として国内農業投資を拡大し、生産された農産物を輸出する政策を展開している。
 - ・ベトナムの食料供給はコメに特化し、世界第2位の輸出国になっているが、食料の流通システムがまだ未整備である。
 - ・日本は食料供給が縮小する可能性があり、アジアとの共存が不可欠である。一方、高級品の輸出の展開も必要である。

(約1時間のご講演とその後の講師を交えた懇親交流会となります)

会費：ご出席希望の方は以下に お申し込み、登録の上、当日会場入り口にて参加費(懇親会込)3000円をお支払ください。当日は、講演会と懇親会は同時にスタートしますので講演会のみ費用設定はありません。

申し込み先：(株)アジアソリューション・中山芳美 宛

電話：092-741-9338 E-mail：yoshimi@asol.ne.jp

九州・アジア/中国ビジネス研究会

主催：一般社団法人九州・アジアビジネス連携協議会

共催：近畿大学産業理工学部アジアビジネス研究会